

現勢調査報告（2024年度）

2024年度現勢調査の実施

2024年4月から5月に2024年度現勢調査を行いました。今までは地区内のネットワークを中心とした情報収集という方法でしたが、個人情報の問題やネットワークでの情報収集に限界があるため、調査項目と調査方法を変えました。

調査項目は、氏名や性別や年代などの調査項目を廃止し、①聴覚障害教職員の在籍人数②所属学部の内訳③職種の内訳の3点のみとしました。そして、全国の各聾学校（聴覚支援学校）学校長宛に郵送で調査協力を依頼する方法をとりました。聾学校以外の特別支援学校については、今まで同様に地区内のネットワークで情報収集を並行して行いました。

聾学校からの回答は83校あり（109校の内）、未回答の聾学校は会員のネットワークで情報収集し、合わせて95校の聾学校の情報を把握できました。87%の回答率となりました。

聴覚障害教職員の総数は506名となりました。（聾学校416人・聾学校以外90人）
<全体の傾向>（統計データについては一部のみで割愛させていただきます。）

・全ての県の聾学校に聴覚障害教職員が在籍しています。（未回答の聾学校がありますが、会員が在籍していることは把握しています）

・県別に見ると、一番多いのは東京都（56人）でした。

・管理職としての校長は、茨城県立水戸聾学校の1名です。教頭は私立明晴学園（2名）と埼玉県立特別支援学校大宮ろう学園と岡山県立岡山聾学校と大阪府立中央聴覚支援学校の5名です。また、主幹教諭となって、準管理職として学校運営に携わる教員もいます。

・聾学校の聴覚障害教職員の所属学部の内訳については、乳幼児教育相談4人、幼稚部29人、小学部94人、中学部84人、高等部91人、専攻科3人、地域支援部4人、寄宿舎24人、事務その他21人です。

・聾学校の聴覚障害教職員の職種の内訳については、教諭300人、実習教員23人、寄宿舎指導員24人、養護教諭2人、その他講師・事務主任・補助員など様々です。